

連載コラム

>> 過去の連載コラム



世界文化遺産登録

すごいぞ! 富士山

>> パンタナンバー

第三回 物語の中の富士山

富士山をめぐる言い伝えや物語は数多くあります。

「竹取物語」で、かぐや姫の残した不死の薬を頂上で焼いたことから不死の山（=富士山）と呼ばれるようになったとの説もあります。富士山には、他にどんな物語があるのでしょうか。いくつかご紹介します。

富士山を作ったのは誰？

昔、神様が高い山を造ることになり、土を近江国から運んでくることになりました。そうしてできた山が富士山で、土を取った跡が琵琶湖になったそうです。この話が縁で、静岡県富士宮市と滋賀県近江八幡市は、夫婦（めおと）都市の提携を結んでいて、今もさまざまな交流行事が行われています。



似た話として、神様と天狗が大きな山を造る競争をして、神様が造った山が富士山で、天狗が造った山が榛名山になったというものもあります。

また、富士山を造ったのは大男（ダイダラボウなど）で、土を運ぶときについた足跡が富士五湖になったという言い伝えもあります。

お詫びと訂正

11月号の「すごいぞ! 富士山」内に誤りがありました。今年の夏山シーズンの登山者数は正しくは「31万人」でした。23万人という登山者数は、山梨県側からの人数であり、静岡県側からの人数を合算していない数字です。訂正してお詫びいたします。

高さ比べ

富士山が、八ヶ岳、愛鷹山、白山など多くの山々と背比べをした話は各地にあります。

八ヶ岳は、元々は富士山よりも高かったのですが、背比べに負けた富士山に棒でたたかれて、頭が割れて背も低くなり、現在のように八つの峰ができたのだとか。

富士山の神様は、とても気の強い女神なのだそうです。



地名の由来

富士山のまわりには、地名にまつわる話もいくつかあります。

昔、大噴火が起こり、その音を聞いて外に飛び出てきた村人の目の前に、ものすごい高さの山(富士山) ができていました。

村人が、大きな目を見はって驚いたので「大目村」(現在の山梨県上野原市)となったとも言われています。

富士山が出てくる話はまだまだあります。日本を代表する山ならではのですね。

参考図書：『富士山を知る事典』富士学会 企画/渡邊 定元・佐野 充 編

[▲このページのトップへ](#)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーぶらぎ

電話：03-5770-6837/Fax：03-5770-6884 お問い合わせ：fureai-info@kissport.or.jp



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。